Creative Enzymes®

アスペルギルス属由来ペクチンリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0908

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ペクチン酸リラーゼ (EC 4.2.2.2) は、植物組織のマセレーションおよび軟腐敗に関与する酵素です。ペクチン酸リラーゼは、ペクチン酸の除去的切断を行い、非還元末端に4-デオキシ-α-D-マンナン-4-エヌロン酸基を持つオリゴ糖を生成します。このタンパク質は、花粉発生の後期に最大限に発現します。ペクチン酸リラーゼ遺伝子の花粉発現は、花粉管の成長中のペクチン分解の必要性に関連している可能性が示唆されています。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。
別名	(1->4)-アルファ-D-ガラクツロン酸リラーゼ; ポリガラクツロン酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; ポリガラクツロン酸リラーゼ; エンドペクチンメチルトランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; エンドガラクツロン酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸リラーゼ; ペクチンリラーゼ; アルファ-1,4-D-エンドポリガラクツロン酸リラーゼ; PGAリラーゼ; PPase-N; エンドアルファ-1,4-ポリガラクツロン酸リラーゼ; ポリガラクツロン酸リラーゼ; ペクチン・トランスエリミナーゼ; ポリガラクツロン酸・トランスエリミナーゼ; ペクテートリラーゼ; EC 4.2.2.2

製品情報

由来	アスペルギルス属
形態	液体
EC番号	EC 4.2.2.2
CAS登□番号	9015-75-2
分子量	~ 45kD
活性	~ 180 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.0および40°CのTris-HClバッファー中で、ポリガラクツロン酸から1μmoleのガラクトロン酸を1分間に放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4°C